

この日、病児・病後児等緊急サポート事業保育サポーター講習会(全4回)の最終回が行われました。この講習会は、急を要する子どもの預かりを行う地域の助け合い活動の有償ボランティアを育成する講習会です。参加者たちは、座学や疑似体験に熱心に取り組んでいました。

講師で特定非営利法人病児保育を作る会の賀川祐二代表理事は、「この事業は、保護者の急な用事の際などにお子さんを預かれるだけでなく、お子さんが風邪を引いた際にも預かれるよう、サポーターを育成しています。お子さんを預けるには事前に登録が必要ですので、万が一のときのために登録しておくとう安心です。緊急時にはご利用ください」と話してくれました。



6/23
市役所

保育サポーターになるために



6/10
ベルーナドーム

全力で応援!!

この日、埼玉西武ライオンズフレンドリーシティ2022フレンドリーシティ感謝デーに蓮田市マスコットキャラクター「はすぴい」が参加しました。他自治体のキャラクターといっしょにフレンドリーシティ感謝デーを盛り上げてきました。

蓮田市と株式会社西武ライオンズは、平成30年7月3日に西武ライオンズの地域コミュニティ活動「L-FRIENDS(エルフレンズ)」の活動の一環である「連携協力に関する基本協定」を締結しました。これにより蓮田市は、西武ライオンズのフレンドリーシティとなりました。

まちの風景



小さい子どもから小学生まで楽しめる子育てでつながろうMINIフェスタは、抽選で当選した親子が訪れ、にぎわいました。2年ぶりの開催となった今年は、紙芝居の読み聞かせやもの作り体験、トランプリボンやボールを使って体を動かす運動遊びなど、子どもたちの五感を働かせる工夫がなされた。会場には子どもたちと子育て団体が響いていました。

今回初めて参加した田口辰吉さん・舞さん・胡桜ちゃんは、「色々な体験ができてとても楽しかったです。特にボールを使った遊びがお気に入りでした。また来年も家族で遊びにきたいです」と笑顔で話してくれました。



6/26
パルシー

いろんな遊びに挑戦



蓮田ロータリークラブ杯第3回蓮田少年野球大会が開催されました。開会式では、昨年の優勝チームからの優勝旗・優勝杯の返還とレプリカ授与、選手宣誓などが行われました。選手たちは、これから始まる大会への意欲を高め、どのチームも優勝を目指し闘志を燃やす姿が見られました。

蓮田市少年野球連盟の小野沢努会長は、「令和2年から始まったこの大会で、初めて開会式を行うことができ良かったです。スポーツを通じて、選手たちの心の育成、技術・体力の向上、チームワークの形成などさまざまな能力を高めていってほしいと思います。今しかない時間をたいせつに、仲間との思い出を作ってください」と笑顔で話してくれました。

6/11
黒浜運動公園野球場

誇れる仲間と最高の時を

